

地質調査標準仕様書

昭和61年4月1日制定

平成 7年4月1日改訂

平成12年7月1日改訂

平成14年1月1日改訂

平成14年9月6日改訂

平成16年4月1日改訂

平成20年6月30日改訂

平成23年6月24日改訂

平成27年4月1日改訂

岡山市下水道河川局

第 1 条 本地質調査は、設計図書、岡山市契約規則に基づき、本市監督員の指示に従い実施しなければならない。

第 2 条 ボーリング孔径は、φ 66 mm、φ 86 mm、φ 116 mm とする。

第 3 条 ボーリング深度は、設計書に明示したとおりとする。但し、支持層（N 値 50 以上）を確認するボーリング孔は支持層があるまで掘進する。支持層確認厚さは 3 m とする。

第 4 条 標高及び座標について

- (1) ボーリング地点の標高は、最寄りの水準点から高さの測定を行い求めること。水準点の標高・場所は、本市が指示する。
- (2) ボーリング地点の座標は、G P S 又は 1/1000 以上の地図から求め、柱状図などの試験結果に関する図表等には記載しなければならない。座標の求め方については本市監督員と事前に協議するものとする。

第 5 条 報告書には、下記の事項について記載するものとする。

(1) 地質柱状図

標尺（縮尺 1/100）標高、深度、層厚、柱状図、土質名、色調、観察事項、相対密度、相対稠度、コンシステンシー、試料番号、試験深度 N 値（10 cm、20 cm、30 cm 毎）、地下水位、土質試験試料番号、採取深度、その他必要事項

(2) 調査仕様、内容、数量、地形及び地質概要、調査地区、地盤概要、土質試験結果についての調査位置図、土質縦断図（色分け）、土質試験結果、調査記録写真、使用機械調書、その他必要事項

(3) 土性図

標高、孔内水位深さ、土質記号、試料番号、粒度粗成、土質試験結果をまとめたもの、その他必要事項

第 6 条 1. 納入品は次のとおりとする。

(1) ボーリングコア標本箱 : 1 組

・完了検査終了後は、受注者において 5 年間保管すること。

(2) 報 告 書 (A 4 版) : 3 部

(3) 電子媒体 (C D - R) : 1 枚

・報告書の内容をすべてデジタル化したもの。

・C D - R のフォーマット形式は、I S O 9 6 6 0 (レベル 1) とする。基本的には 1 枚の C D - R に格納するものとするが、納まらない場合は、本市監督員と協議のこと。

・デジタル化の方法等については『地質調査デジタル化報告書作成要領』による。

2. 電子媒体 (デジタルカメラ) の使用による写真の提出について

(1) デジタルカメラによるプリント写真は必要な文字、数値等の内容の判読ができる機能・精度を確保できる撮影機材を用いること。

① デジタルカメラについては、極力高画質のカメラを使用し有効画素数 1 0 0 万画素以上のものとする。ただし、地質のコア写真は 2 0 0 万画素以上とする。

② プリンターは写真データ印刷に適した高解像度のプリンターを使用しフルカラー 720×360dpi 以上のものとする。

③ インク、用紙等は通常の使用条件のもとで 3 年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。

(2) 写真原本のネガ及び電子媒体 (CD-R) は、必要時に提出できるよう 3 年間は受注者が整理保存すること。

第 7 条 不攪乱試料で土質試験を行うものは次のとおりとする。

- | | |
|-----------|-----------|
| ・土粒子の密度試験 | ・土の湿潤密度試験 |
| ・土の含水比試験 | ・土の一軸圧縮試験 |
| ・土の粒度試験 | ・土の圧密試験 |
| ・土の液性限界試験 | ・三軸圧縮試験 |

- ・土の塑性限界試験

第 8 条 攪乱試料で土質試験を行うものは次のとおりとする。

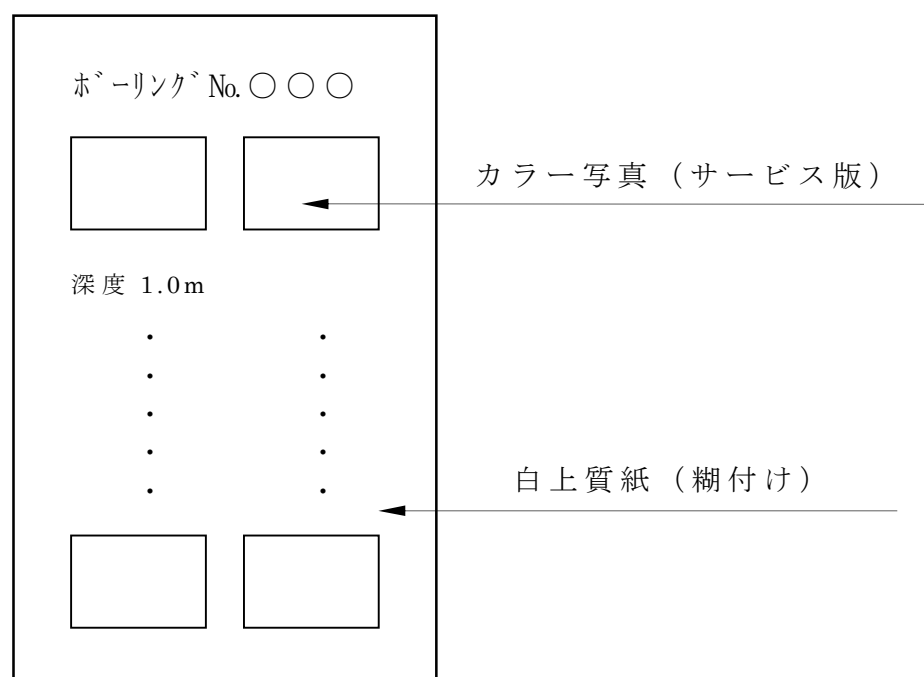
- ・土粒子の密度試験
- ・土の液性限界試験
- ・土の含水比試験
- ・土の塑性限界試験
- ・土の粒度試験

第 9 条 設計内容は予測に基づいて作成したものであり、現地と極端に相違する場合もあるので、ボーリング深度、試験項目、試験位置については、本市監督員の指示に従うこと。

土質調査の成果品について

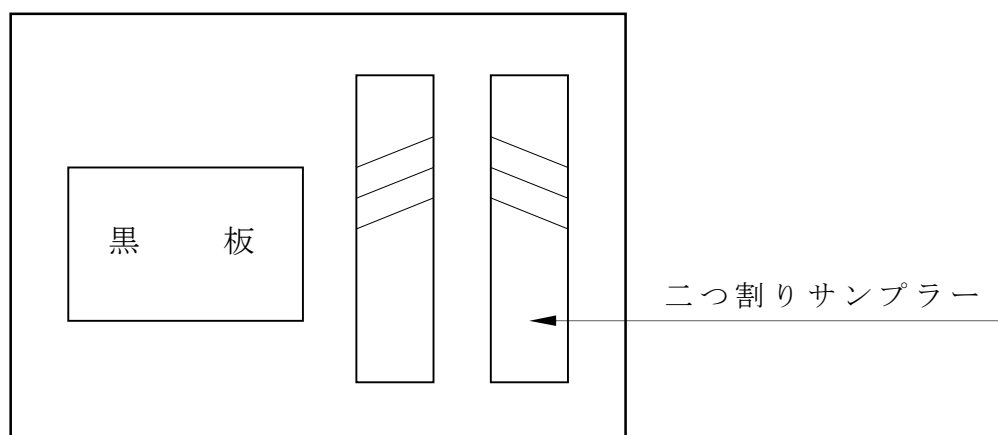
1. 土質試料採取にあたっては、スプリットサンプラー等の開口時に各層（@1.0～2.0m）のカラー写真を撮影すること。

また、成果品に綴る場合には、白上質紙に糊付け（カラーコピーはだめ）をすること。デジタルカメラを使用した場合は、この限りではない。



写真には、ボーリング番号深度を黒板に記入した上、撮影すること。
なお、色合い、粒度等を観察できるように接写を行うこと。

2. スプリットサンプラー等の形状については、次のとおりである。



土質調査成果品（製本）の提出について

1. 土質調査業務の成果品の提出については、以下のとおりとする。
- (1) C D - R (フォーマット形式は、IS09660 (レベル 1) とする)
- (2) 成果品

<p>(1)</p> <p>調査業務委託報告書</p> <p>No. ○○○○</p> <p>(2000年○月)</p> <p>岡山市下水道河川局 ○○課</p>	<p>契 約 番 号 R○○-○○○○○○○○○○○○-○○</p> <p>○○○○○○地内</p> <p>土質調査業務委託</p> <p>報 告 書</p> <p>No.○○○</p> <p>令和○年○月 (2000年○月)</p> <p>岡山市下水道河川局○○課</p> <p>○○○○○○○○株式会社</p>
---	--

- イ) 提出部数は、３部（冊）提出すること
 - ロ) 文字は、白文字とすること
 - ハ) 完了年月については、元号と西暦を併記すること
- ニ) 調査技師、試験者については、明確に記入すること

地質調査デジタル化報告書作成要領

1. 使用ソフトについて

(a) ワープロ・表計算ソフト

ワープロ（文書）ソフトは、Word とする。

表計算ソフトは、Excel とする。

報告書作成において、一般的に必要となる文書作成ソフトおよび表計算ソフトの規定を定めたものである。

(b) イメージファイル

試験結果、柱状図、土性図などの図表など上記のソフトで記載することができない対象（イメージファイル）は、原則として紙図面等をスキャナーにより読みとる。読みとり対象に白黒以外の色が一部でもあればそれはカラーとする。

そこで白黒は 400dpi でカラーは 300dpi 以上とする。

(c) 柱状データ

柱状データ入力については、本市監督員が指示する入力シートとする。

(d) その他

推定縦断図についてはDWGファイルとして保存する。

また、カラー写真等を読みとった場合、保存容量が大きくなりすぎて作業に支障がある場合は、著しく画像の品質が低下しない解像度で読みとってもよい。

なお、上記の（b）と（c）は一部重複するものとする。

2. ファイル名について

各種データに定義するファイル名は、名称部分(ドライブ文字を含 256 文字まで)と拡張子により構成する。名称部分については、ファイルの中身がわかりやすい名称とし、漢字表現が可能なものについては極力漢字を使用すること。

ファイル名については、後の使い勝手や管理の面から、極力そのファイルの内容が想像できるような名称の付け方が望ましい。例えば、下記のような内容を示す単語を“_”(アンダースコア：半角英数字とする)で接続する。

【例】 委託名：平野地内ほか土質調査業務委託(その5)の

文書ファイル

平野 5_01 調査概要.(拡張子)

3. 電子媒体 (CD-R) の作成について

報告書作成データを提出するメディアは、CD-Rとし、フォーマット形式はISO 9660 (レベル1) とする。

(1) フォルダの構成

提出するCD-Rディスク内は、ページ順の項目毎にフォルダを作成し、各フォルダにファイルを保存する。(5. を参照)

(2) CD-Rディスクのラベル

- 提出するCD-Rのラベル面には、下記の情報を明記すること。(図1-1 参照)
なお、電子媒体には、必要項目を表面に直接印刷するものとする。シールによっては温湿度の変化で伸縮し、電子媒体に損傷を与えることがあるため、シールは使用しない。

- (1) 契約番号
- (2) 業務名称
- (3) 作成年月日
- (4) 発注者名称
- (5) 受注者名称
- (6) ウイルスチェックに関する情報
- (7) CD-Rフォーマット形式

- プラスチックケースのラベルの背表紙には、下記のような情報を横書きで明記すること。(図1-2 参照)

- (1) 業務名称
- (2) 作成年月日

図 1-1 ラベル記載例



図 1-2 背面紙記載例

〇〇地内ほか土質調査業務委託(その〇〇) 作成年月日:令和〇〇年〇月〇日

(3) Readme.xls ファイルの作成

提出するCD-Rディスクに、CD-Rディスクの内容について記述した Readme ファイルを Excel97 以降で作成し保存しておくものとする。

	A	B	C
1	契 約 番 号	R〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
2	業 務 名 称	〇〇地内ほか土質調査業務委託(その〇〇)	
3	作 成 年 月 日	令 和 〇〇 年 〇 月 〇 日	
4	発 注 者	下 水 道 河 川 局 〇〇課	
5	受 注 者	〇〇コンサルタント株式会社	
6	ウイルス対策ソフト名	〇〇〇〇	
7	ウイルス定義	令 和 〇〇 年 〇 月 〇 日 版	
8	チェック年月日	令 和 〇〇 年 〇 月 〇 日	
9	フォーマット形式	ISO9660(レベル1)	
10	ボーリング番号	No. 1 2 3 4、No. 2 3 4 5、No. 3 4 5 6、No. 4 5 6 7、… …	
11			
12			
13			
14	備考		
15			
16			
17			
18			
	岡山市下水道河川局〇〇課		

(4) ウイルスチェック

提出するファイルに関してはウイルスに関する安全性を考慮し、常に最新のウイルスチェックプログラムで確認しておくこと。

4. CD-R の内容について

- (1) 報告書1冊が報告書の編冊どおり XeroxDocuworks で File 化（元 DATA を含む）したもの。
- (2) 報告書1冊が報告書の編冊どおり Adobe acrobat で File 化したもの
- (3) 400dpi でスキャンした柱状図の圧縮 Tiff ファイル。
- (4) 柱状データ入力表。
- (5) DWG による推定縦断面図。
- (6) Readme.xls ファイル。

注．カラー写真は編冊した状態でスキャニングし、上記(1)、(2)以外には添付しないこと。従って、デジタル写真機による生データ（jpeg 等）は認めない。

5. データ保管フォルダ構成の作成について

¥

R ○ ○ -
20190123456789
-00
平野 1

フォルダ名

ファイル名

